

村井 勝彦 議員

消防団の課題解決に向けた取り組みは

問 消防団員の費用弁償はどのような基準により支給しているか。

答 費用弁償については、条例の規定により支給しているが、この中で市長が認めた活動については、式典、分団内打ち合わせ、水利点検などが対象となり、毎月提出される活動報告書に基づき対応している。各分団により活動内容の考え方に違いがあることから、今後については活動回数の考え方を分団に周知を図り、支給していきたい。

問 法律の改正で、消防自動車の運転が規制されたが、消防車両の運転に支障はないか。

答 現状においては2名の団員が規制の対象となるが、今後、準中型免許取得についての補助制度を創設していきたい。



非常招集演習

ラグビーワールドカップの取り組みは

問 おもてなしゾーンの構想はどのように考えているか。

答 愛野駅南側周辺を国際色豊かな交流ゾーンをコンセプトに、多文化交流エリアなども県に提案している。また、エコパに近接する結婚式場を借り上げ、オープンガーデン式のカフェの設置などについても併せて県に提案していきたい。

山田 貴子 議員

宇刈いきいきセンター

問 今後、指定管理を受けないと宇刈自治会では結論が出たが、市の運営方針は。

答 施設の維持管理については基本的に市が行うほか、施設使用料の減免範囲を広げるなど、地域の皆さまにとって身近で、気軽に利用できる「大きな公会堂」へ転換していきたい。

全国学力・学習状況調査

問 小6と中3を対象に4月に実施された全国学力・学習状況調査の本市の取り組みは。

答 小・中学校国語A・B、算数・数学A・B、理科の10科目全てにおいて全国平均正答率を下回る結果となった。新学習指導要領に対応する授業改善を通じて、本市の児童生徒の学力の底上げを図っていききたい。



宇刈いきいきセンター

ふるさと納税

問 本市の来年度に向けての意気込みは。

答 総務省の通知により、返礼割合を3割以下にしている。今年度の目標額を上回るようにするため、魅力的な返礼品として空き家の解体、市営墓地の永代使用権、農業体験などを返礼品に加え、貴重な財源としてより多くのふるさと納税が受けられるよう努力していきたい。